

着物のアップサイクルで、伝統と想いをつなぐ

草津の頑張る企業 Vol.71



フウガ
fuuga ~inherit the heart~

(風雅 ～心を受け継ぐ～)

TEL: 080-3803-2809

URL: <https://fuuga-kimono.com/>

HP▼



代表
宇野 ひと美 さん



サステナブルな社会において、使わなくなったものに付加価値をつけて新たな製品を生み出すアップサイクルの活動はとても重要な意味を持ちます。今回お話を伺ったfuugaさんでは、着物や帯のアップサイクルを通して、気軽に気品ある着物の雰囲気を楽しんでもらえる商品を製作しておられます。一つ一つの着物や帯を『カタチを変えて次世代へ届ける』そんな活動をご紹介します。

新たな価値観で伝統と人の想いを身にまとう

もともと着物が好きで、母や祖母の着物を着ることを楽しんでおられた宇野さん。しかし着物を着る機会が少なくなった今、日本の伝統文化である着物を、着物として着るだけではなく、品格を損なわず、上品で優美な趣を残したまま、普段に気軽に洋服やバッグとして持てないかと考え、着物のアップサイクルを始められました。「こうして普段にも使えるようなカタチに変えてあげることで、またその着物にとっても新しいストーリーが始まったら素敵ですよ、そこそがサステナブルですよ」と宇野さんはおっしゃいます。



fuugaHPから既製品の購入や
セミオーダーで注文できます

昔からファッションが大好きな宇野さんのセンスが光るデザイン性と、日本の伝統を『カタチを変えて身につける』と同時に、その着物や帯に込められた想いをも受け継いでいくこと。これがブランドのこだわりであり、ブランド名に込められた想いだそうです。だからこそ、想いのこもった着物や帯が洋服やバッグとなり、ご依頼いただいた方にお届けした時の「ありがとう、うれしい」のお気持ちが一番嬉しいと笑顔で話されていました。

商品の多様化と販路拡大で和の伝統美を伝えたい

fuugaでは、主に30代以上の女性をターゲットに商品作りをされていますが、スマホなどを入れるサコッシュや男性向けにジャケットを作り、老若男女問わず「伝統美」を楽しんでほしいと考えておられます。また、着物は日本の伝統文化として外国人からも人気があり、着物や帯からできた洋服やカバンもお土産の一つになれば嬉しいと話しておられました。

近年は、一人でも多くの人に知っていただけるよう、京都国際ナショナルギフトショーなどに出席し、常設展示を目指しておられます。また、来年1月16日から始まる近鉄百貨店草津店での「ふるさと企業いいもの発掘市」への出店も予定されています。



宇野さんの活動の原動力は、好奇心と創造力。「やりたいことは本気でやる」という宇野さんの生き方とブランドへの想いを、ぜひ感じてみてください。

職場体験の中学生と一緒に取材をしました

私は取材を通して、着物のアップサイクルは、人の想いを残したまま普段使えるものに生まれ変わり、次の人に託す人も受け継ぐ人もうれしい、素敵な仕事だと感じました。取材の中でお客様に「ありがとう」と笑顔で言ってもらえることが一番うれしいとおっしゃっていたことがとても印象に残っています。心を込めて作る素敵な商品をこれからも作り続けてほしいです。

(松原中学校2年 宇野 真柚葉)

